

このたび、公益財団法人朝日ウッドテック財団は設立50周年を迎えました。これまで財団を支えてくださった財団関係者（理事・幹事、評議員、選考委員）と運営母体である朝日ウッドテック株式会社のみなさまに心より感謝申し上げます。財団の成り立ちやこれまでの歩みとともに、次の50年に向けて、より一層社会に貢献していきたいという財団関係者の思いをお伝えします。

1. 朝日ウッドテック財団の歩み

(1) 設立趣意

朝日ウッドテック財団は、朝日ウッドテック株式会社の創業者である海堀寅造氏の「経済的に恵まれない優秀な学生、生徒に対し奨学金を給付し、有為の人材育成と教育の振興に寄与することを目的として、その基金を寄付する」という遺言に基づき、1975年5月13日、長男海堀寅一氏（初代理事長）により設立されました。設立にあたっては、寅造氏から寄付された朝日特殊合板株式会社（現・朝日ウッドテック株式会社）の株式40万株と現金2千万円が基礎となりました。



海堀 寅造氏 海堀 寅一氏

(2) 沿革

1975.5	2000.12	2008.12	2013.3	2014.1	3/18	4/1	2022.3	2022.11
財団法人海堀奨学会設立	小泉内閣にて行政改革大綱を閣議決定	新公益法人制度改革三法の施行 5年間の移行期間	旧主務官庁（府教委）との摺り合わせ	公益認定等委員会への移行申請 認定委員会での審議	公益認定委員会からの認定交付	大阪法務局への移行登記	「公益財団法人海堀奨学会」の発足 変更申請登記	奨学金事業の内閣府より認可される研究助成事業の創設

2. 若者の夢を支えて

毎年、15人の奨学生を採用し卒業年次を含む2年間奨学金を給付していますが、財団設立以来50年にわたってのべ637人の学生・生徒に2億9千万円余りの奨学金を給付してきました（右ページグラフ参照）。

採用時と卒業時に寄稿文「深根」で将来の夢や抱負を語ってもらったのですが、みなさん異口同音に財団への感謝を述べてくれています。奨学生に応募してくる学生は、経済的に厳しい家庭環境に置かれている場合が多いのですが、一方で、学力は大変優秀でそれぞれ夢を持ちながらも厳しい家庭環境と夢とのほざまで進路をどう選択すべきか悩まれることが多いようです。

返済不要の朝日ウッドテック財団の奨学金は、そのような学生や家族にとって大変助けになっていると、これまでたくさんの感謝の言葉をいただけてきました。こうした言葉をいただくたびに、財団がいかに尊い事業をおこなってきたのかを改めて実感します。



朝日ウッドテック財団の理念は『大樹深根』です。前途有望な奨学生が、大地にしっかりと根を張り巡らせて栄養を吸収し立派な大樹へと成長していく。その栄養のひとつが朝日ウッドテック財団の奨学金であることをとてもうれしく思います。

(公財)朝日ウッドテック財団 事務局

3. さらなる社会貢献のために

財団設立50年という大きな節目を契機にSDGsという世界共通の課題に向き合うため、財団の事業をさらに発展させて、これまで以上に社会に貢献していきたいと考えました。その具体的な取り組みとして、長年おこなってきた「奨学金事業」を拡充するとともに、新たに「研究助成事業」をおこなうことにしました。

これらの公益事業は朝日ウッドテック株式会社の株式配当を中心に活動を展開しております。

(1) 奨学金事業（返済不要の給付型）

① 事業の拡充

大学・大学院・高専生の奨学生の募集エリアを大阪府内から近畿エリアに拡大（指定校を24校から35校に拡大）するとともに、支給金額を引き上げ、より多くの学生への支援を可能にしました。

	従来	変更後
高校生	15,000円	20,000円
高専生	20,000円	25,000円
大学生	25,000円	40,000円
大学院生	30,000円	50,000円

(2) 研究助成事業

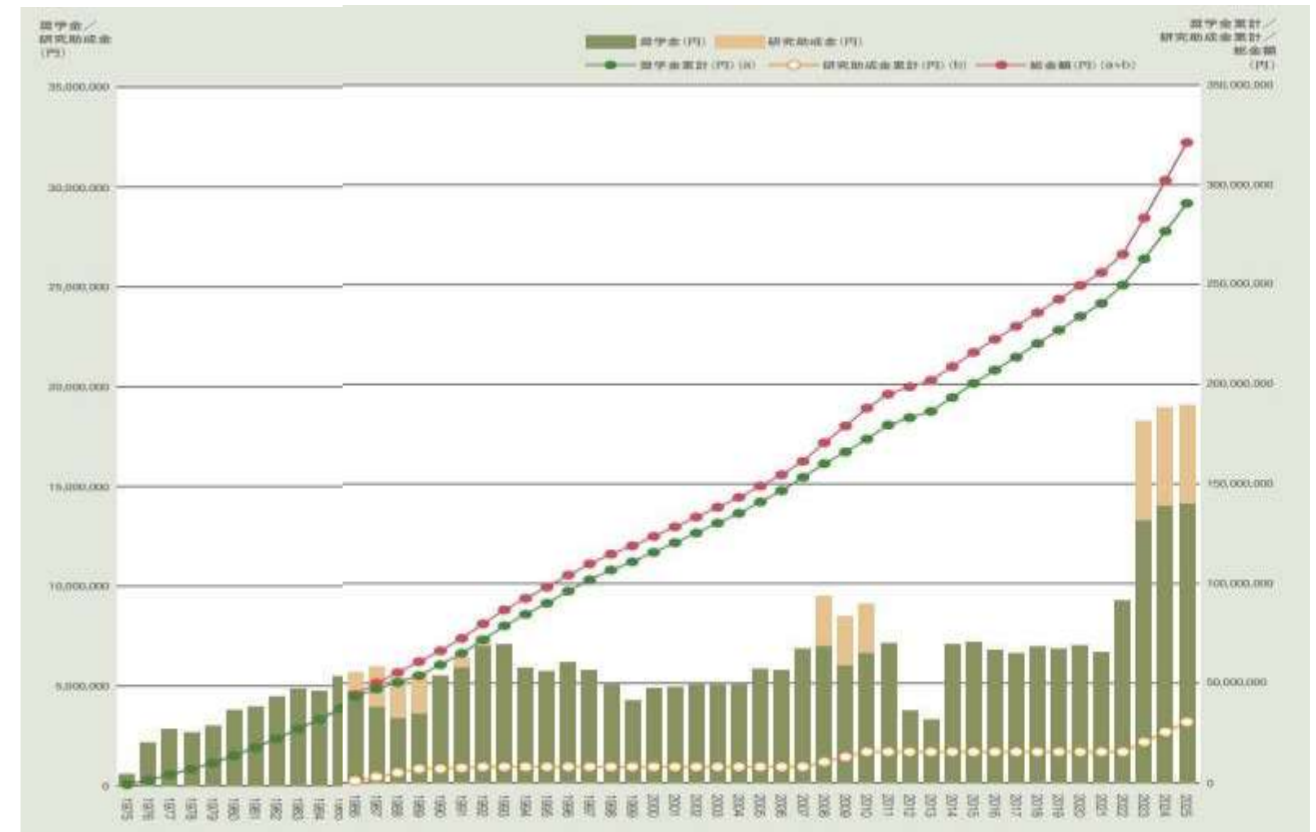
① 創設の目的

財団の運営母体である朝日ウッドテック株式会社の事業が、自社の努力だけではなく木材に関するさまざまな研究によって支えられていることを踏まえ、研究者への支援を通じて木質建材業界の発展と地球環境保全に寄与することを目的として創設しました。

② 助成金額と助成対象（研究ⅠとⅡで年間総額500万円を上限に助成）

- ・研究Ⅰ 300万円 ・ 基盤的、総合的な研究及び材料・技術開発にかかわる研究（予定採択件数1件）
- ・研究Ⅱ 100万円 ・ 45才未満の若手研究者の奨励研究（予定採択件数2件）

<これまでの支援>



財団設立50周年記念式典

～これまで財団を支えてくださった関係者のみなさまへの感謝と次の50年に向けて～

2025年11月8日（土） 於：リーガロイヤルホテル大阪

第一部 特別記念講演

式次第

- ・開会・司会挨拶・講演者紹介
- ・特別記念講演
『木の国・木の文化の国』
川井秀一先生
(京都大学名誉教授)
- ・講演終了・謝辞




木の国・木の文化の国

公益財団法人朝日ウッドテック財団
設立50周年特別記念講演会

講師：川井秀一（京都大学名誉教授）
日時：2025年11月8日（土）
場所：リーガロイヤルホテル大阪

目次：
1. はじめに：木のイメージ
2. 日本人は木を大事にしてきたか？ 森林荒廃の歴史
3. 森林破壊の歴史から生まれた人工造林：スギ林・ヒノキ林
4. 「ほんまもん」の木へのこだわり
5. スギ材を活かした健康・快適な空間づくり
6. おわりに：百年の計 人を樹えるに如くは無し




第二部 感謝のつどい

式次第

- ・開会・司会挨拶
- ・代表理事挨拶
- ・財団50年の歩み紹介
- ・乾杯のご発生
- ・ご歓談（祝宴）
- ・祝電披露
- ・奨学生OB/OGから感謝のお便り披露
- ・閉会挨拶

